

目次

- P1 ご挨拶(学区社協会長 堀井崇男)
- P2 振り向き、前に！(自治連合会会長 青木昭樹)
- P2・3 ... 感謝(小学校校長 質居繁治)
- P3 「認知症になっても、安心して過ごせるまちづくりに向けて」
(区社協事務局長 森本 広史)
- 第30回寝具丸洗い乾燥サービス
- P4 フリースペース「居場所」井戸端」
健康すこやか学級(参加案内)
学区社協の年間実施事業
編集後記

ふくしのまち

おの

2023.29

ご挨拶

小野学区社会福祉協議会

会長 堀井崇男



学区民の皆様方並びに学区内事業所様には、小野学区社会福祉協議会種々の活動に多大なご理解とお力添えを賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。さて、昨年この紙面でご挨拶をさせて頂いてから瞬く間に一年が経過し、今年も学区社協

広報誌を発行させて頂く時期を迎えました。昭和五十六年に学区社協が創立以後、小野学区に見合った地域福祉の確立を肝に銘じ、関係者一同頑張っておりますが、学区民の皆様方の目には、どのように映っておりますか。福祉という無限に思われる間口の広さ・終わりを感ぜさせてくれない奥の深さと、年々増加の一途をたどる福祉の多様化等々に真正面から向き合い、直面する現実と学区に見合った方向性のズレを修正しながら区社協活動推進に基づき、学区民の皆様方に少しでも満足して戴けることを願い、地道に一步一步地に足をつけ実施を致しております。

二十二年目を迎えた「健康すこやか学級」コロナ禍ではありますが、毎月一回

の実施を遂行し、二十八回目を迎えた「小野学区ふれあいの集い」は、コロナ禍により中止を余儀なくされた三年間、ご参加予定の皆様方には申し訳なく思っております。三〇回目の「寝具乾燥丸洗いサービス」・二十九回目の広報紙「ふくしのまちおの」・十七回目の「住民福祉懇談会」等を実施し、二〇年目の「学区ボランティアセンター」では、「健康すこやか学級の手助け応援」を中心的な事業として活動を実施しながら、コロナ禍により活動が難しい子育て支援事業と学区内障がい者施設との交流事業は一時中断しています。一方では年々複雑化してきている「大規模災害発生時の要支援介助」を中心とした避難者との接触等、新たな構築を考えております。

さて、毎年学区民の皆様方並びに学区内事業所様に、温かい御理解と御協力を戴いております。社協賛助会員の令和五年度募集を、今年もコロナ禍の中、感染による地域社会の混沌としているなか、十二月から来年一月にかけて実施させて頂きたく存じます。今年もコロナ禍による地域社会が疲弊する中、人とのつながりや景気回復が今一つ実感できない中、市・区・学区社協の運営状況も昨年度にも増して緊迫致しております。私ども学区社協では、来年度を見据えて賛助会員募集活動の実施に踏み切らせて戴く事に致しました。学区の皆様方・事業所様には、今以上のご無理を申し上げることになりますが、皆様方の温かいお心に背くことの無いよう、細心の注意を払いながら福

祉業務に励んでまいります。その為にも、今年度の賛助会員(賛助会費)募集には、昨年度にも増してのご理解ご協力と、一口でも多くの賛助会員募集にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。皆様方にご協力を賜りました尊い浄財の使途につきましては、区社協・学区社協の主財源になります。なお、賛助会費につきましても、学区社会福祉協議会に今年度も四〇%の還元がありました。学区社会福祉協議会と致しましては、その貴重で大切な還元金を年間予算の主財源として各種活動に役立たせて戴いておりますが、今年度も公的助成には財源難から来る陰りが顕著であり、賛助会費が大きくな頼りになっております。新型コロナ禍中の景気回復に、今以上のご無理を学区の皆様方に申し上げることの無いよう、細心の注意を払いながら福祉業務に励んでまいります。そのためにも、今年度の賛助会員(賛助会費)募集依頼時には、昨年度に増してのご理解ご協力と、一口でも多くの賛助会員募集にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

私ども小野学区社会福祉協議会と致しましては、皆様方個々の思いにより一層近づけるよう、地域に根ざした社会福祉活動に日々精進してまいりたいと思っております。今後とも倍旧のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。広報紙「福祉のまち おの」発行のご挨拶とさせていただきます。

「学区民の皆様方には、コロナ禍の中感染にはくれぐれもご注意ください。」

移動販売実施 のご案内

小野学区社協では、山科区社協のお手助けを戴き、毎週水曜日の14時30分～15時30分に、小野地域の皆様方を主にした事業ですが、どなたでもご利用いただける移動販売を実施しています。

移動販売の会場

高川北側の介護施設「ひだまりの家小野」北側の専用駐輪場をお借りしています。

取り扱い商品

野菜・果物・お魚・お肉・牛乳・豆腐・パン類・加工食品・お米・お水・調味料・日用品など

*商品を直接見て、手に取って、自分で選んで購入することができません。一度会場へお越しください。

**今年も賛助会費の
募集に温かい
お力添えを
お願い致します**

振り向き、前に！

小野学区自治連合会 会長

青木 昭樹



平素は小野学区自治連合会の活動にご理解と、ご協力賜り誠にありがとうございます。

今年度から、体育祭午前開催を除き、通常の事業が再開できるようになり、地域にも活気が戻りつつあるように思います。ただ、残念なことに自粛期間として活動できなかった三年間で、地域を支えてきた相互信頼や協調といった意識が希薄になってきているのも事実です。これは決して一部の方の無気力、無関心だけでなく運営側の問題もあると反省するところでもあります。

「今までのがこうだったから、このままやれば良い」では、誰にも共感してもらえません。古の歴史、起因を理解し、説示する。何事においても事を起こそうとする場合にはまず起案、熟議、合意の手順を惜しま

ず、受ける側の不信、不満、不安をなくすよう務めた上で実行すべきだという事です。将来を見据え皆の英知を結集し、事業改革を行う事が信頼回復と、無関心の解消に繋がる第一歩になると考えます。

私もも今後は、必要とされる価値のある活動を目指して、誰もが参加しやすい小野学区を、基盤を固めつつ堅実に構築していく所存です。

最後に小野学区は創立四五周年を迎えました。小野フェス、体育祭を記念事業として無事、滞りなく終えましたことをご報告申し上げます。ご協力頂いた町内会、各種団体の皆様に感謝申し上げますとともに、学区民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

**ふれあいと
和のある学区
みんなの力で
住みよい小野を!!
残された
自然の中で
心大きく
のびのびと育て!!**

感謝

京都市立小野小学校 校長

竇居 繁治



早いもので、小野小学校に赴任させて頂いてから、五年目を迎えました。多くの小野学区の方との出会いに恵まれ、充実した五年間を送らせていただきました。地域の皆様の温かいご支援のおかげと深く感謝いたしております。

平素は、本校教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度も、学校教育目標を中学校区共通で「互いを認め合い、すすんで学び続ける児童の育成」とし、連携を取りながら取組を進めています。これからも、「進んで学ぶ子」「互いの心を大切にする子」「互いの命と体を大切にする子」という「小野小学校のめざす子ども像」を目指して、取組をすすめてまいります。地域や保護者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。さて、小野学区社会福祉協議会主

催で毎年行われていた「小野学区ふれあいの集い」が、四年ぶりに行われました。本校二年生児童も四年ぶりに参加させていただきました。地域の皆様へ、お祝いと日頃の感謝の気持ちを含めて「ロック ソーラン」を披露させていただきました。温かく優しい目で子どもたちの演技を見てくださる姿に、地域の皆様の温かさを感じることができました。子どもたちからの、お祝いと感謝の思いが、少しでも皆様に届いていれば幸いです。

後になりましたが、「ふくしのまち おの」の益々のご発展と、地域の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。今後とも、小野小学校の教育活動に対して、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

**「認知症になっても、安心して過す」せる
まちづくりに向けて**

山科区社会福祉協議会 事務局長

森 本 広 史

九月十五日「敬老の日」にちなんで京都市の高齢人口の推計結果が発表され、山科区の高齢化率は前年比〇・五ポイント増の三十一・一%

東山区を抜いて市内で最も高くなりました。

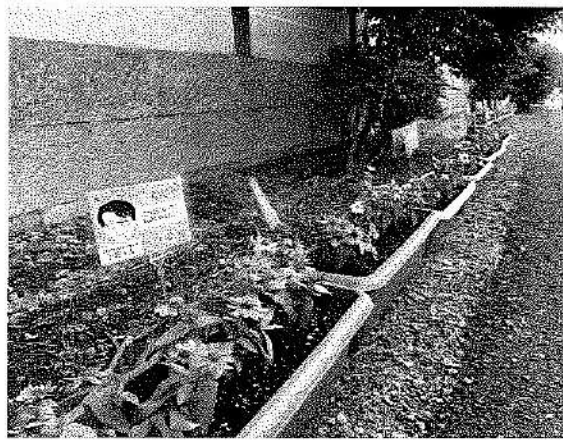
高齢化の進行は、社会保障や財政の問題からマイナスイメージで語られることが多いですが、「もつとも暮らしやすい」「健康長寿市内随一」…などプラスにとらえて、さらなる福祉のまちづくりの皆様と一緒に取り組みたいと思っています。

加齢にともなう疾病の一つ「認知症」については二〇〇五年に全国で七〇〇万人を超えるという推計があります。介護予防・認知症予防の取組みが広がり、また治療薬といわれる新薬の開発も進みつつありますが、発症がおさえられる決定打には程遠いのが現状で、「認知症になっても」安心して暮らし続けられる社会づくりの視点がますます重要になってきています。

そんな社会づくりの一助にと「花壇プロジェクト」を区社協では進めています。きっかけはある若年性認知症の当事者の声からでした。「俺まだまだ活躍できると思うねん」…声をきっかけにボランティアが運営する通いの場にお誘いし、そこでの仲間と一緒に「花壇づくり」がスタート。「花の苗寄贈するわ」「認知症にちなんでオレンジの花を植えよう」「園芸を通していろんな人とつながれるのがいい！」と様々な絆が

生まれ、本願寺山科別院前の通学路が花いっぱいになった。生まれ変わりました。

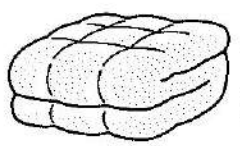
オレンジロードが山科のまち全体にひろがって、認知症の人にとっても、あなたにもみんなにもやさしいまちに、山科区が発展することを願います。興味関心のある方はぜひこのプロジェクトにご参加ください！



**熱い血の流れた
福祉学区を。
みんなで考える
自治づくりを。**

**第三十回
寝具丸洗い
乾燥サービス**

今年も、寝具丸洗い乾燥サービスを十月二十一日に実施致しました。冬の寒さを少しでも暖かくして過ごすに、寝具丸洗いはとても大切なサービスです。今年もこの事業を待っていたかのように、急な冷え込みがありました。二十八軒の方より、敷き布団・掛け布団・毛布等合計四十四枚のご希望があり、早朝にお預かりして夕方にお届けをさせて頂きました。この事業を心待ちにされていた皆様方の嬉しそうなお顔と、ありがとうございます。今年も触れさせて戴くことができ、今後の活動に向けて大きな励みになりました。これで充分とは言えませんが、今年の冬も少しでも暖かく過ごして戴けるのではないかと、学区社協・学区民児協の役員一同喜んでおります。



フリースペース「居場所」に参加の皆さんへ

学区民の皆様方には、耳慣れない言葉だと思えますが、フリースペース「居場所」を開設して、二年が経過致しました。フリースペースとは、読んで字のごとし、自由に過ごして戴く場のことで、場(会場)は社会福祉協議会で設定致しました。学区内二か所の会場をお借りして実施をしております。

【第一会場】

- 一、場所 小野児童館(小学校西門脇)
- 一、実施日 四月から十一月までの

- 一、時間 毎月第二土曜日 午前十時十五分から

- 一、内容 子どもたちとお喋りや遊びでひと時を過ごしてもらいます(音遊びを教えてやって下さい)
- 一、会費 現時点では無料

【第二会場】

- 一、場所 介護施設すばる勸修寺(勸修寺西北出町バス停南)
- 一、実施日 五月・七月・九月・十一月の

- 一、時間 第二土曜日 午前十時十五分から

- 一、内容 すばる通所者との歓談やお好みな方はカラオケを
- 一、会費 現時点では無料

来年度暖かくなりましたら、一度のぞいて下さい。現在とは違つ、新しい出会いが見つかるはず。百聞は一見にしかず先ずはお越し下さい。社会福祉協議会ボランティアがお待ちしております。

「健康すこやか学級」を一度のぞいて下さい

社会福祉協議会では、学区にお住いの七十五歳以上の方を対象にした「健康すこやか学級」と云うふれあい高齢者事業を実施して、今年で二十年目を迎えております。開始当初からご参加を戴いている方々も数多くおられ、主催者も喜んでおりますが、転居された方・施設に入所された方・年齢による体調を心配され外出を控えられた方等々により、現在での対象者数は当初の半数近くに半減してきております。私共社会福祉協議会と致しましては、開始当初の三十名程度の対象者数に還元できればとの思いで、今年も御案内をさせて頂きました次第でございます。小野学区にお住まいの七十五歳以上の方で、ご自宅から会場の小野小学校や勸修寺にある吉利俱八幡宮社務所まで歩いて来て戴ける方が学区には大勢様お住まいと思えます。もし宜しければ見学を兼ねて会場を覗いて戴けませんか。これと云つて、難しく考えて戴く必要もなく、気楽にお考え戴きまして、暇つぶしのつもりで、お越し戴ければ結構です。社会福祉協議会ボランティア一同、お待ちしております。

- ・参加対象年齢は七十五歳以上の方
- ・ご自宅から小野小学校や吉利俱八幡宮まで歩いてこられる方でおおむね健康な方。
- ・お一人住まいの規定はありますが、ご相談に応じます。
- ・会費は五百円(昼食代として)で、毎月最終土曜日の午前十時から正午までの時間です。
- ・(二回実施の月も有ります)
- ・体調による出席欠席はご自由です。
- ・その他、出来る限りご相談に応じます。

- ・中山多美子 五七二―三六二四
- ・藤本 寛子 五七二―二三四九
- ・入江 和栄 五〇一―一五七一

学区社協の年間実施事業

- ・住民福祉懇談会 ☆実施済み(一件の依頼事項) 進行中
- ・三年計画の公共事業 ※三年計画の公共事業
- ・友愛訪問(六十五歳以上の単身、寝たきりの方を対象) ☆実施済み
- ・小学生体験事業 ☆実施済み
- ・子育て支援の一環として全校児童対象の流し素麺事業 ☆現在休止
- ・おおよけの里夏まつり(従事協力) ☆現在休止
- ・小野学区ふれあいの集い(六十五歳以上の方) ☆実施済み
- ・コロナ禍に負けずに五十五名の参加をいただきました。 ☆実施済み
- ・小野学区民体育祭 午前中(学区内障害者施設の参加者に対する会場介助) ☆実施済み
- ・寝具クリーニンングサービス(単身、寝たきりの方・他を対象二十八軒の依頼) ☆実施済み
- ・介護予防の集い ☆実施済み
- ・☆実施予定(介護当事者・介護者の交流会) 今年の内容未定
- ・広報紙の発行(現在お目通しの新聞)
- ・よい子の防火のつどい(学区社協支援事業) ※実施日未定
- ・高齢者防火対策事業 (六十五歳以上の単身・寝たきりの方を対象の煙感知器メンテナンス事業) ※事業一応終結
- ・小野学区総合防災訓練 (学区内障害者施設の訓練 参加介助) ※実施日未定
- ・介護予防の集い(介護当事者の交流会) ※来年三月実施予定
- ・福祉委員会
- ・※年間二回の実施予定
- ・役員、委員、ボランティア研修会 ※年間四回の実施
- ・大規模災害発生時要支援介助の研修会 ※年間二回の実施
- ・健康すこやか学級 (十五名の方を対象に頭の体操、脳トレ体操、レクリエーション等を中心に年間十二回の実施)
- ・連合会依頼事業への参加 ※年間五〜六回
- ・「市社協・区社協関連」
 - ・区社協評議員会・区社協学区会長会・学区交流会・各種研修会・各種講習会 ※年間三十数回程度

◆編集後記◆

今年、四年続きのコロナ禍の中、学区社協の活動紹介と、連合会長・小学校校長、区社協事務局長に原稿を依頼し、構成を致しました。ご協力を戴きました各位には誠にありがとうございます。皆様方に学区社協をより一層ご理解戴きたく、例年とおりの構成に致しました。なお、今年度は「ふれあいの集い」と「学区民体育祭」等の継続事業につきましては、新型コロナウィルス感染の関係により午前中のみとなり、写真でのご紹介はございません。なお、構成の不具合や誤字脱字がございましたらご容赦の程、宜しくお願ひ申し上げます。